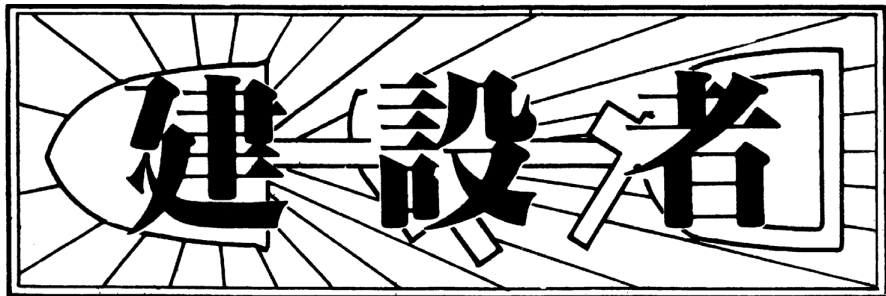


今月の葛飾組織現勢	
2018年10月1日現在	4,536人
加 入	84人
転 入	3人
脱 退	28人
転 出	2人
2018年11月1日現在	4,593人



東京土建一般労働組合  
葛 飾 支 部  
〒124-0012 葛飾区立石8-34-4  
電 話 (5698) 1 2 6 1  
FAX (5698) 1 2 6 2  
発行人 細 貝 文 洋

秋の拡大月間到達状況

	11/1付 人員	秋の拡大月間		
		目標	成果	到達率
た つ み	532	19	14	74%
奥 戸	420	14	16	114%☆
本 田 立 石	330	11	4	36%
青 戸	174	7	7	100%☆
中 央	393	14	7	50%
堀 切	278	10	5	50%
西 亀 有 ②	94	3	4	133%☆
亀 有	306	10	11	110%☆
細 田 高 砂	395	14	14	100%☆
柴 又	188	7	4	57%
新 金 町	346	12	12	100%
北 水 元	209	8	1	13%
幸 田	271	9	9	100%
水 元	435	15	15	100%☆
そ の 他	222	8	3	38%
合 計	4593	161	126	78%

2018/10/31 集計

# 厳しい秋の拡大月間 月間目標達成分会は8分会



最後はガンバロー三唱で終わりました

追い込みで達成の分会も

ようやく終わった秋の拡大月間。分会、群の役員をはじめ、多くの方にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

今回は、葛飾支部だけでなく、全都府にも厳しい拡大月間となりました。支部目標161人に対し、最終到達は126人。目標まで残り35人という結果でした。

訪問行動や駅頭宣伝などの行動に取り組みも、対象者がなかなか現れない状況が続きました。最終盤に追い込みをかけたのですが、支部目標の達成はできませんでした。

達成分会は、奥戸、青戸、西亀有②、亀有、細田高砂、新金町、水元、幸田の8分会。超過達成は、奥戸、西亀有②、亀有の3分会でした。

行動では、組合員訪問アンケート2割回収の目標を達成したのは柴又、北水元の2分会。春に続いて、拡大駅頭宣伝に取り組んだのは、本田立

## 次の拡大を見据えた種まき 本田立石分会の駅頭宣伝



各出口で宣伝しました

10月25日(木)、最後の行動日に、本田立石分会では、京成立石駅で宣伝行動を行いました。この日の行動への参加者は15人。今回は、次の拡大に向けた種まきとしての行動でした。

組合の説明を簡単にまとめチラシ入りのティッシュを作り、それを配布しました。今回はアンケートはとらず、800個ほどのティッシュの

配布のみです。今すぐではなく、何かあったときに思い出してもらえることが大切です。必要なときに思い出してもらおうためには、目にする機会を増やしておくことが有効です。

月間中の組合員訪問なども大切ですが、次の拡大に繋がる種まきも重要です。休む間もないですが、次を見据えた行動もお願いします。

## 記入へご協力をお願いします



一次締切では4380枚でした

10・11月に取り組む財務省宛の国保要請ハガキにご協力いただきありがとうございます。10月25日(木)の一次締切では4380枚のハガキが集まりました。国保要請ハガキは、国保予算獲得に向けた大事な取り組みです。忙しいとは思いますが、健康保険の現行水準の維持し、国保料の値上がりを防ぐため、国保予算獲得に向けた今年度最後の国保要請ハガキ(1人1シート4枚)の記入へご協力をお願いします。

石、細田高砂の2分会でした。本田立石では、月間中2回取り組みました。秋の月間は終わりましたが、年末拡大、年間目標の達成と年間実増があります。達成を目指してあと少し頑張ってくださいませ。

## 寅さん

そろそろ着物や袴を着た子どもたちの姿が見られ、七五三で神社が賑わう時期である。

七五三は、もともと公家や武家で行なわれていた「髪置き」「袴着」「帯解き」という別々の3つの儀式が1つになった行事だ。

こうした節目を祝うのは、子どもの死亡率が高かったことに由来する。節目の年に成長を祝って神様に感謝をし、無事に7歳を迎えると神社の氏子になる。7歳が節目であるのは、その頃には体も成長し、死亡率が下がるからだ。そのため、「7つ前は神のうち」といって、魂が定まらなると考えられていた。

医療の進歩により、病気がけがで亡くなる人は減った。しかし、高度な医療を受けられるようになった分、社会保障費は年々増加している。今年の予算案では、薬価を下げることで伸びを5000億円に抑える方針だと政府の発表があった。

増額していくものを抑えようというのにはわかるが、社会保障の改悪や増税へ繋がるのは遠慮したい。社会保障制度の維持にも、増税への歯止めにも、健康は大切だということだろう。健康であることが節約になるという人もいる。病気になるらない生活を心掛けることや、健診を受けて病気を早期に見つけることはすぐできるだろう。土建国保は、年1回の無料健診が受けられる。使える制度を利用して、健康な生活を目指してはどうだろうか。

# 青戸平和公園で住宅まつり 青戸フェアと共催で



上棟式には多くの人が集まりました

10月7日(日)、青戸平和公園で「住宅まつり」を開催しました。同会場では、青戸商店会主催の「青戸フェア」も行なわれており、今回は会場を分けての共同開催という形になりました。太鼓の演奏が9時半より行なわれ、開始となりました。会場内では、各分会が飲食な

どの販売を行い、職人体験を行なうコーナーや工作教室もあります。会場中央に作った休憩スペースを利用する人も多く、購入した食べ物をおいしそうに食べていました。この日は、夏が戻ってきたかのような30度を超える暑い日で、本田立石分会が販売したかき氷は特に盛況でした。職人コーナーは昨年の反省点や改善点を盛り込み、大工・内装・建具・左官の4つに厳選。大工では丸太切り、内装ではクロス貼り、建具では網戸と障子の張替え、左官では塗り体験ができます。DIYを趣味とする人も増えているからか、女性の参加も多くなりました。

工作教室は、定番の銅板工作のほか、今回は新しいものを用意しました。モザイクタイル、マガジンラック、イス型の置き台、ティッシュボックスが今回の準備したものです。材料はすでにカット済みで、釘も必要本数をセッとして参加者へ渡し、指導員と一緒に作っていました。モザイクタイルは、作った人のこだわりが出ており、個性豊かな仕上がりが嬉しかった。今回、葛飾支部の活動を知ってもらったためのパネル展示も行ないました。工作教室や復興支援などの取り組みや各専門部について、パネルを作製しました。その隣には住宅相談と技術センターのコーナーがありました。

## 講習を受けよう

フルハーネス型安全带使用作業特別教育 講習会日程

日時	2018年		2019年	
	12月6日(木)	12月12日(水)	1月23日(水)	1月29日(火)
会場	東京土建技術研修センター (豊島区池袋1-8-6)			
内容	①作業に関する知識 ②墜落制止用器具(フルハーネス型)に関する知識 ③労働災害防止に関する知識 ④関係法令 ⑤墜落制止用器具の使用法等			
受講料	8,000円 ※未加入の方は組合加入金等が別途かかります。			
受講資格	東京土建の組合員 ※18歳以上であること			
申込方法	受講申込書に必要事項を記入・押印し、受講料と写真1枚(縦3cm×横2.5cm)を支部事務所に持参の上、お申込ください。			
締切	希望開催日時の2週間前まで(定員となり次第、受付終了となります)			

高所からの墜落・転落による労働災害は建設業全体の4割以上を占めており、墜落・転落災害の防止対策の推進が喫緊の課題となっています。胴ベルト型は、着用者の身体を胴部だけで支持する構造であるため、墜落制止時の衝撃による内臓の損傷など救出されるまでのゆつり状態での

腹部等の圧迫による危険性が指摘され、この事による重篤災害が発生しています。2018年6月、労働安全衛生法施工令が一部改正され、「安全带」が「墜落制止用器具」に改められました。また、労働安全衛生規則等が一部改正され、高さが2メートル以上の箇所であって作業床を設けることが困難なところにおいて、フルハーネス型のものを用いて行う作業については、特別教育(6時間)の対象となりました。これを受け、東京土建では特別教育の講習会を開催します。日程については、表の通りとなります。申込書は葛飾支部にありますので、お問合せください。定員になり次第、受付終了となります。また、開催日の2週間前までにお申込をいただかないと、受講ができません。期日にはお気をつけください。

## 国保の制度を活用しよう

### 予防接種補助

インフルエンザが流行する季節がやって来ました。予防接種を受けるといっても、インフルエンザにかかった人もいます。不足に備えてワクチンの1回接種を呼びかけ、医療機関で予約が取りにくいという状況も聞かれます。

土建国保に加入している人(扶養家族を含む)は、

年に1回インフルエンザ予防接種の補助(2,000円)が受けられます。

予防接種を受けた土建国保加入中の方は、制度のご活用を。必要なものは、医療機関で予防接種を受けた際の領収証(原本)と申請書の二つです。郵送でも受け付けていますので、接種した際はご申請ください。申請書は支部や国保組合のホームページからダウンロードできます。葛飾支部へ

### けんチャレ

ご連絡いただければ郵送します。75才以上の組合員の方は、別に補助があります。お問合せください。

昨年始まったけんチャレですが、参加者が少ないです。今からでも取り組みませんか。条件を満たすと、クオカードのプレゼント(先着1,500名)と、抽選に応募できます。

健康や特定保健指導などの条件です。

## 10・11国民集会

### 会場外での参加



元気よく行進しました

10月11日(木)、「憲法・いのち・社会保障」も10・11国民集会が日比谷野外音楽堂で13時より行なわれました。葛飾支部からは52人が参加しました。今回、医療保険制度に関する集会であり、医療従事者の参加が多かったことで、葛飾支部を含む東部ブロックは会場の外での参加でした。

改悪について、医療従事者の観点から訴えていました。集会では、医療保険制度にどのような改悪が行われ、今後どういった制度改定を行なおうとしているのか、また介護職の処遇改善が行われていないこと、地方の医療現場が過酷であることなどの訴えがありました。最後は、シユプレヒコールを行ないました。

しかし、集会が始まる前から、会場の外では医療従事者からの訴えが行なわれていました。「医療費を支払って、さらに患者負担を増やすのはおかしい」、「国民皆保険制度を守っていく」という声、現在行われている保険制度の

終わった後は、いつものルートでデモ行進しました。編成がいつもと違って、練馬支部が先頭でした。

# 建設業を体験する

## 中学生の職業体験

「ここ数年、毎年行っている中学生の職業体験。今年も、葛美中学校から3人の生徒を迎えて、葛飾支部会館で体験授業を行いました。今回は、現場見学や講義もあり、ものづくりも行うというものでした。」

今回の実習でもものづくりの楽しさを知り、建設業へ少しでも興味をもってくれると、嬉しい限りです。

今年も、中学生の職業体験がありました。10月4日～11日までの土日祝日を除く5日間、葛美中学校から3人の生徒が来ました。

昨年は技術対策部長の片岡茂樹さんにご協力いただき、材料を加工して、建て方を体験しました。しかし、これでは建設業の幅広い職業を体験できないということで、今年からは、内容を変えました。はじめの2日間は、現場見



完成品とともに記念撮影

# 功労者賞を受賞



会場前で記念撮影

10月1日(月) 10時半より、東京都庁5階にて、東京都名誉都民顕彰式と東京都功労者表彰

式が行なわれました。この際、葛飾支部の技術対策部長である片岡茂樹さんが東京都功労者表彰を受けました。功労者にはスポーツの振興や税務などの13の項目が

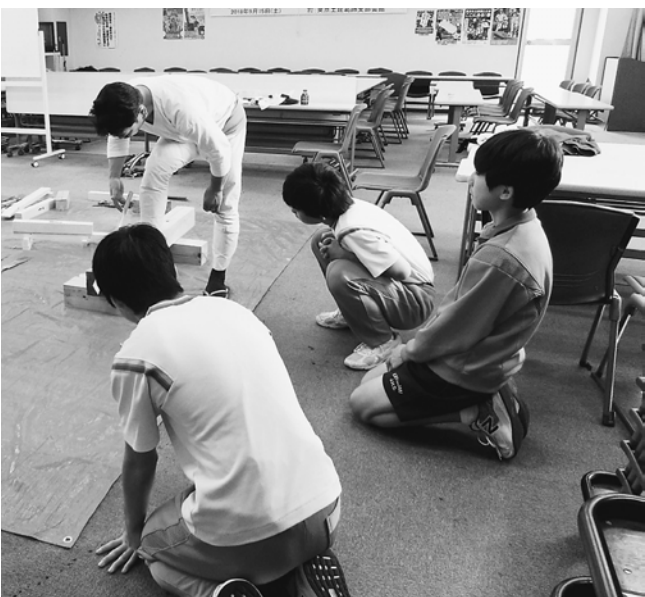
あります。

片岡さんの受賞は、「労働精励」です。これは、職務に精励(精を出して)とめはげむことし、特に優れた功績をあげたことで表彰されるものです。片岡さんは、普段の仕事はもちろんですが、東京都が主催する匠の技の祭典でも総監督として尽力し、若手育成のために技能検定などのさまざまな取り組みを行なっています。それらが認められ、功労者として表彰されたということでした。

## 建設現場を見学して

学や組合員の方からのお話を伺うことに。残りの3日間では、学校へ寄贈する縁側を作製しました。

初日に来た中学生には、まず、土建や建設業のことを知ってもらおうと、DVDを見てもらいました。その後、青戸で新築物件の工事現場を見学をさせてもらいました。ち



鋸を真っ直ぐに引くコツを教わりました

ようど建て方が終わったところで、大工の方が見学しました。

建てている途中の建物の状態を見る機会は少なく、中学生たちも見ることがないといっていました。木造建築の特徴や筋交いの役割など、実際に見ながら話を聞きました。



葛飾支部のテントの様子

## 災害への備え 葛飾区防災訓練

この、被害に遭ったときに対応ができるようにと、今年も葛飾区で防災訓練が行われました。今年も柴又公園でした。この訓練に、葛飾支部か

毎年のように起る地震や台風などの自然災害。西日本、豪雨災害や北海道の胆振地震といった災害では、甚大な被害が出ました。このよう

らも参加をしました。葛飾区と葛飾支部は、災害時協定を結んでいます。災害時には、葛飾支部で結成したチームNAMAZUは、住民の救出のために器具の貸し出しなどの手助けをすることになっていきます。災害前の備えに使うもの、災害時に必要なものといった道具など、どういったものが役に立ち、必要になるのかを展示したり、体験できたり、また、災害に関する知識をまとめたものを展示したりしました。

## 大工道具で

## ものを作る

現場見学と講義です。現場は水元のほうへ向かい、見学しました。午後は、池袋にある技術研修センターで実際に講習を受けているところも見学しました。

3日目からは、いよいよものづくりです。今年も、縁側を作ります。出来上がった縁側は学校へ寄贈するため、気合が入ります。ただ、使い慣れない道具で、初めての作業



体験内容は新聞にまとめてくれました

また、少し前に北海道の胆振地震もあり、古い建物の耐震性と耐震補強のことや建築基準法の改正による変更なども話してくれました。建物の図面も見せてくれて、説明をしてくれました。また材料に記載されている「いろはに」のひらがなはどこに使うのかを確認する目印になっているということも、中学生がわかるように教えてくれました。話を聞いて、中学生からも、「建設業を目指したのはいつからか」などの質問がいくつか出て、それらに一つずつ丁寧に答えられていました。

午後は、近くの組合員の方の話を聞きに伺いました。建設業に携わるようになったきっかけから始まり、区の入札の話や持っている資格など、さまざまな話を聞くことが出来ました。

2日目も、初日と同じく、多いため、失敗をしないようにと、1度別の木材を利用して練習をしました。そのおかげで、出来上がったものはきれいな仕上がりました。今年の講師は、片岡さんを中心に、中央分会の齊藤さん、細田高砂分会の加藤さん、幸田分会の伊藤さんの3人にも、ご協力をいただきました。道具の使い方から、作業の説明とともに、生徒を見守ってもらいました。

鋸を引くことも、玄翁を振るうことも思ったにないこともあり、生徒たちは体の使い方にも苦労していました。楽な姿勢を取れば鋸を真っ直ぐ引けず、鋸を真っ直ぐに引こうとすると姿勢が辛い。筋肉痛になったと囁き、苦勞しながら3日間の作業していました。ノミを使っての穴掘りは「上手だ」とお褒めの言葉もあり、生徒たちも嬉しそうに

# 秋晴れを楽しむ ウォーキング大会



きれいな青空の下を歩きました

【書記 大崎趣理】10月21日(日)に都立水元公園で第六回ウォーキング大会を行いました。

去年は悪天候で苦しい思い出でしたが、今年は曇一つない晴天で秋の澄んだ風が心地よく感じられました。127名が参加し、ポプラ並木や水郷の景観などが多く見られる約5km弱のコースです。

初めに、及川厚生文化部長の挨拶では災害に対しての備えや共済制度の重要性を訴えました。交流を行う中で少しでも共済制度に馴染みのない方に興味を持ってもらいたいとのことでした。

次に、準備体操、ストレッチです。ウォーキング協会の方から怪我のないよう念入りにご指導いただきました。日頃、あまり運動をしない私は

このストレッチだけで辛かったです。

そしていよいよスタートです。コースの所々には季節も感じられ、絶好のウォーキング日和でした。途中にはいくつか野鳥を観察するコースもあり、休憩をしながら、自然と触れ合っている方もいらっしゃいました。約一時間半のコースで「疲れたよ」という方もいれば、「楽勝」と笑顔で帰って来た方もいらっしゃいました。様々でしたが、ちょうどいい距離だったのかなと思えました。

最後に参加賞とお弁当です。今回も前回同様に、抽選会をなくし、参加賞やお弁当

を豪華にしようと厚生文化部会の中で決定しました。お子さんのいる家庭は楽しめるのかなどの不安もありましたが、「お弁当、美味しいよ」と言っていたら、とても嬉しかったです。家族や分会の仲間と一緒に楽しそうに食べている姿を見て、やはりつながりは改めて大事であると感じました。拡大月間で仲間を増やし、新しい仲間との交流を深めていけるようなイベントを来年も計画していきたいと思えます。

## ヘルシークッキング

### 調理の順番が大事

10月から11月にかけて行なわれている恒例の女性の会のヘルシークッキング。今回のテーマは、「ごちそう料理」です。ローストビーフ・ニョッキのトマトソース・レタスときのこのスープ・マチェドニアの4品を作りました。

ニョッキはジャガイモと小麦粉で作る楕円形の pasta です。講師の方からは、かぼちゃやほうれん草などを入れても彩りのきれいなニョッキが作れるとアレンジも教えてくれました。マチェドニアは色々な果物を入れたフルーツサラダのことですが、簡単に言うとイタリア風のフルーツポンチのことです。

今回は、10月20日に行われた亀有学び交流館で開催されたものに参加してきました。



調理は分担して手際よくすすめます

最初に配布されたレシピに添って調理の説明がされました。ローストビーフは味を馴染ませ、じっくりと熱を通すためにどうしても時間が掛かるため、調理の順番は大事です。

最初は配布されたレシピに添って調理の説明がされました。ローストビーフは味を馴染ませ、じっくりと熱を通すためにどうしても時間が掛かるため、調理の順番は大事です。

調理は1時間半ほどで終わり、みんなで完成品をいただきました。ニョッキが思いのほかお腹に溜まったり、厚みのあるローストビーフが噛み切れなかったりとありま



4品が無事完成です

したが、美味しく楽しいヘルシークッキングでした。ちなみに、ローストビーフを薄く切るには、しっかりと冷やしてよく切れる包丁を使うのがコツだそうです。作る際には、ぜひ前日からの仕込をオススメします。

## 太平洋を一望 建長会バスレク



展望台からの景色はきれいでした

建長会バスレクの今年の実行先は、銚子方面。9月28日(金)に31人が参加して開催しました。

関東平野最東端の犬吠崎、飯岡刑部(ぎょうぶ)展望台で、太平洋を一望し、地球の丸さを実感。その後、ぎょうけい館で温泉入浴と宴会を行いました。会員同士の交流を深めました。

午後、ヤマサ醤油工場に用意してくれていたので、スムーズに進みました。

工場見学としょうゆの学習。ウォッセ21では、お土産をたくさん買って、葛飾へ。帰りの車中では、今年もビッグ大会を開催。最期まで楽しく一日を過ごすことができました。

建長会は、65歳以上の組合員であれば、誰でも加入することができます。未加入の方は、楽しい建長会には是非加入してください。

## 仲間の作品コンクール 課題限定でメールの応募も

第35回仲間の作品コンクールの応募作品を募集しています。部門は文芸と写真の二つです。今年からは、スマホ撮影限定で、メールでの応募もできるようになりました。

応募の詳細は、左記の通りです。

※文芸部門

短歌・俳句・川柳の3部門の中から一人につき一部門5作品まで応募できます。

※写真部門

組合活動・スナップ・風景・2018年度課題の「ステキな人」の4部門の中から、一人につき3点まで応募できます。撮影はフィルムカメラ、デジタルカメラどちらでも構いません。

組合活動、スナップ、風景は、A4サイズもしくは六つ

切りでの応募となります。

課題の「ステキな人」はスマホで撮影したものでメール応募のみの受付です。

部門によって応募方法が異なります。ご注意ください。

※応募資格

組合員とその家族

※応募締切

2018年12月末日

※応募方法

文芸部門と写真部門の組合活動・スナップ・風景3つは作品と応募用紙を葛飾支部までお持ちください。

写真部門の課題「ステキな人」はタイトル・組合員氏名・応募者氏名・所属支部を記入の上、左記のメールアドレスにお送りください。

kyousaikai@tokyodoken.org